

# 出張報告

報告日 令和7年5月12日

会派名	柏崎の風
報告者氏名	三嶋 崇史
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	令和7年度市町村議会議員研修会（3日間）
日時	令和7年5月7日（水）12:00～5月9日（金）12:00
場所 （会場）	全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）
調査項目等	新人議員のための地方自治の基本
概要	<p><b>■概要</b></p> <p>地域住民の期待と信頼に応えるためには、社会情勢の変化や地域の諸課題、住民ニーズの把握に加え、地方自治に関する諸制度について精通していることが重要。</p> <p>新人議員を対象として、地方議員が理解しておくべき地方自治に関連する諸制度や基本的事項を講義や演習を通じて学ぶ。</p> <p>また、全国の市区町村議会議員が集い、地方自治に関する様々なテーマについて情報交換をし、条例立案に関するグループ演習、意見交換、発表を行う。</p>  <p><b>■講義内容</b></p> <p><b>【地方自治制度の基本】</b></p> <p>これからの地方自治を考える上で、地方議員が理解しておくべき地方自治制度に関する基本事項や、地方分権改革の経緯について学ぶ。また、地方自治を取り巻く最新の動向についても様々な観点から考える。</p> <p><b>【地方議会制度について】</b></p> <p>地方議会の仕組みや地方議員に関する基本的事項について、法や標準会議規則の規定及び具体的に事例を基に理解を深める。</p> <p><b>【地方議会と自治体財政】</b></p> <p>予算・決算の仕組みや地方交付税制度など、市町村議会議員が知っておきたい自治体財政の仕組みやポイントを基礎から学ぶ。</p> <p><b>【条例と政策の審査・立案】</b></p> <p>条例審査や条例提案にあたって市町村議会議員に必要な基本的な視点や考え方、ポイントなどを学ぶ。</p> <p><b>【条例立案に関するグループ演習】</b></p> <p>グループに分かれ、条例に関する課題の討議、条例立案を作成し、講師による講評。</p>

	<p><b>【これからの地方議員に期待されていること】</b></p> <p>地方の課題が多様化・複雑化している近年、地方議員が住民の期待と信頼に応えるためには、地方自治の仕組みや議会の役割、自治体の実情への理解のほか、議員自身のさらなる資質の向上が求められる。議会の多様化やデジタル化、SNS の影響などを学び、これからの地方議員に期待されること、そして地方議員としての心構えやあるべき姿について考える。</p>
所感等	<p><b>【三嶋 崇史】</b></p> <p>全国より新人議員 132 名が受講した研修会に参加した。本研修会では、主に地方自治の基本を学ぶ講義内容であり、なかでも注目した点が三つ。</p> <p>一つ目は、財政の目的別歳出額 15 年間の推移で民生費が増加し、土木費が減少傾向にある。社会情勢などにより行政サービスの変化は何年か遡って考察することが出来る。また、令和 4 年度総務省の市町村財政力指数に都道府県の平均をみると、新潟県 0.48 に対し、柏崎市では 0.66 と平均を上回り、自治体の自主財源の割合が高く財政状況が安定しているが、経常収支比率は 94.5 と高く財政の硬直化がみられる。自治体の維持には削減、合併、連携が重要であることを学んだ。</p> <p>二つ目は、広報の留意点である。自治体は市民に効果的に広報を行う責任があり、情報の形式の工夫がポイントとなる。大事なことは、対象者別の広報を考え、伝え方を工夫し、対話することである。</p> <p>三つ目は、選挙の投票率の低さである。日本の民主主義の不活性が選挙の投票率を下げる要因であり、議員だけの問題ではない。先生が特に強調していた問題で近年では投票率が下がり続けている。主権者教育のあり方や親と子どもと一緒に啓発できる環境が重要であると感じた。</p> <p>議員として、地方自治の基礎をしっかりと学ぶと共に、全国から集まった同志との交流を図ることが出来た。</p>